



由布市 議会だより

YUFU CITY COUNCIL

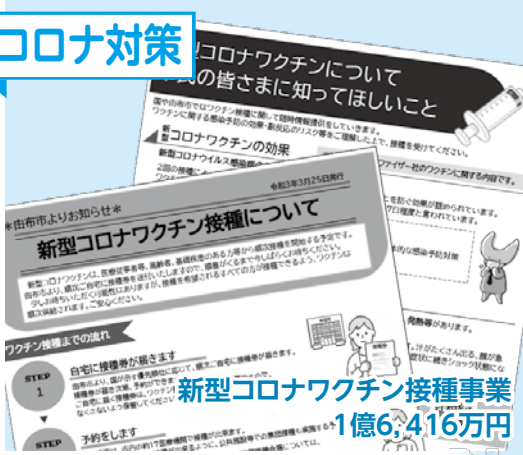
No.62
2021年6月



CONTENTS

- ◆ 令和3年第1回定例会
 - 令和3年度当初予算概要 1~2
 - 令和2年度議案・補正予算・質疑 3
 - 予算特別委員会質疑 4
 - 議員定数改正(議員発議/討論(要約)) 5~6
 - 常任委員会報告 7~9
 - 市政を問う(一般質問) 10~13
- ◆ 由布大分環境衛生組合議会報告 5
- ◆ 後期高齢者医療広域連合議会報告 5
- ◆ 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等 裏表紙

コロナ対策



令和3年度 一般会計当初予算

ウィズ・アフターコロナ 災害からの早期復旧・

一般

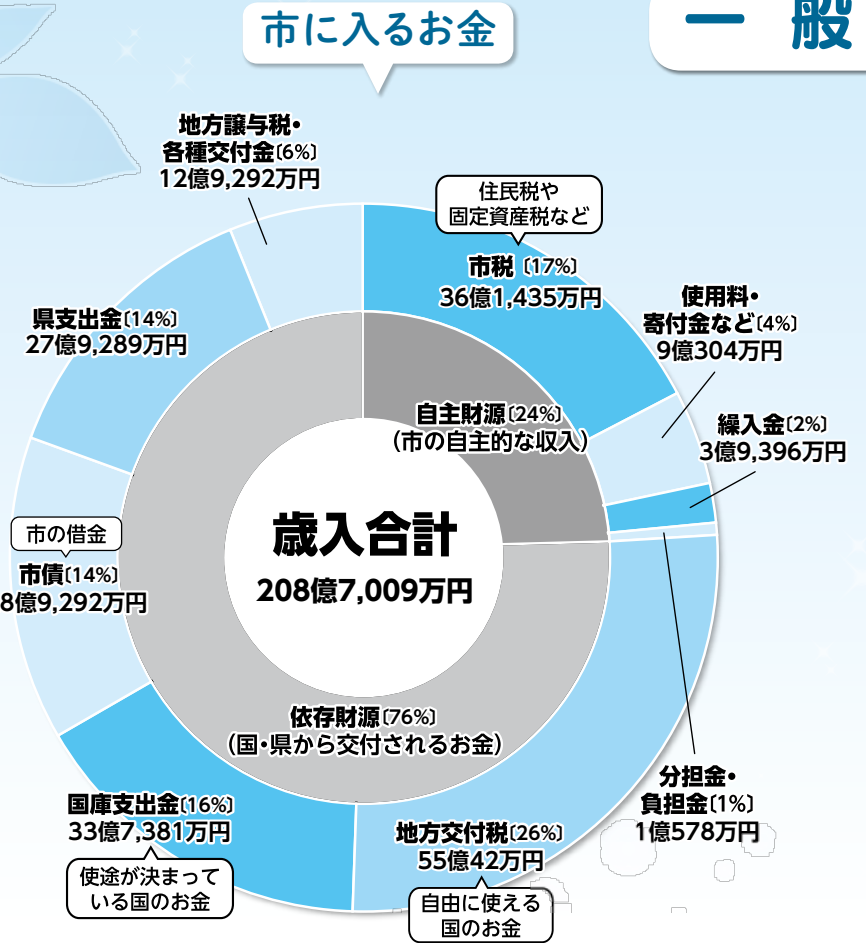
社会教育



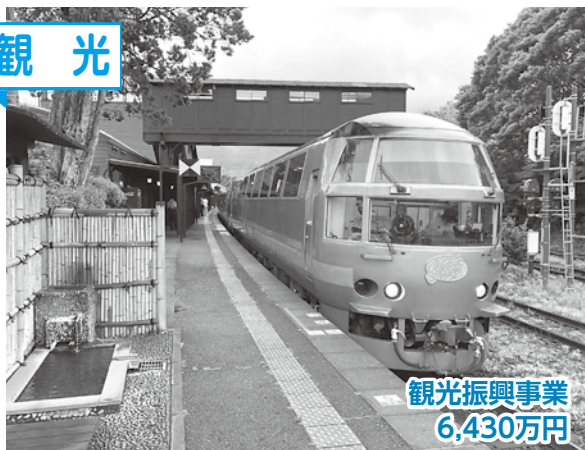
衛生



災害復旧



観光

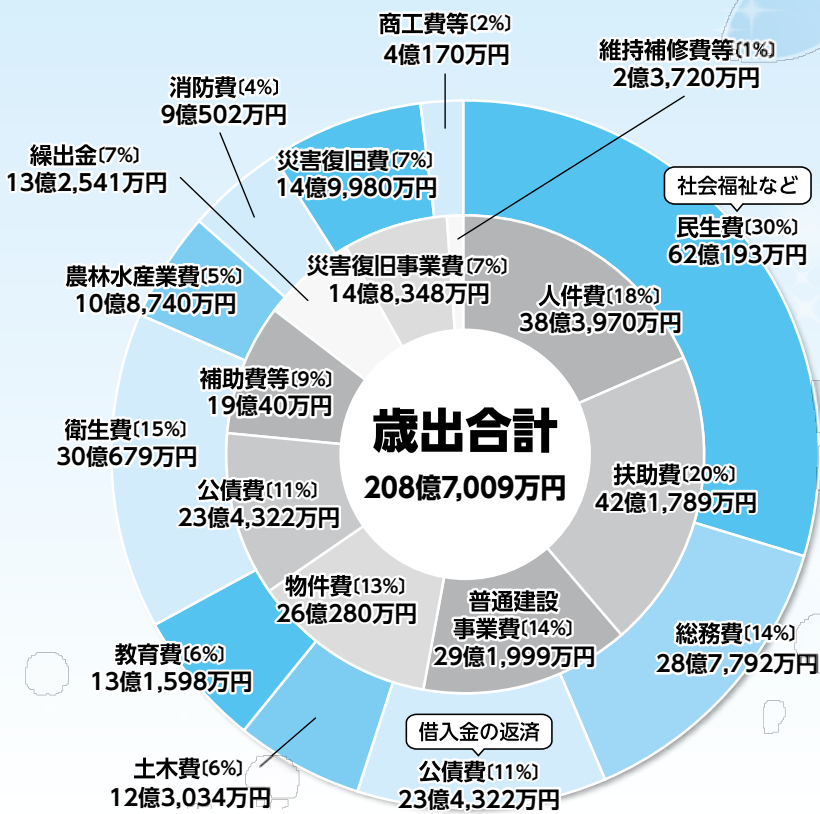


208億7,009万円を可決 (前年比 17億9,778万円増)

社会の構築と 復興に向けた予算編成

会計

使いみち



施設



地域



移住



写真は、湯布院町に移住しセラピストとして活躍する宮本さん

デジタル



【令和3年度の各会計の予算額】 (単位：万円)

会計名	令和3年度当初予算額	前年比
一般会計	208億7,009	+17億9,779
特別会計	国民健康保険	-1億8,923
	介護保険	-3億0,613
	後期高齢者医療	+2,118
	農業集落排水事業	-477
	計	280億1,825
水道事業	収益的収入	+1,836
	収益的支出	+2,717
	資本的収入	-7,942
	資本的支出	-9,122

令和3年第1回定例会 概要

令和3年第1回定例会が2月25日～3月22日の26日間開催されました。通称「予算議会」と言われる今期定例会では報告6件、承認1件、議案32件を審議し、全て原案承認、可決し、継続となっていた請願2件は採択、陳情1件は継続審査としました。

さらに、議員発議として「由布市議会会議規則の一部改正」と「由布市議会議員定数条例の一部改正」が提出され可決されました。

主な質疑(当初予算を除く)

○[専決]令和2年度由布市一般会計補正予算(第12号)

Q

飲食事業者等事業継続支援金の対象業種、申請期間、支払いについて。

A

対象となるのはサービス業(観光関連のみ)と、その他飲食・小売・卸売業者等で、売上げが半減した事業者。申請期間は2月1日～3月26日。提出された翌週に支払えるよう事務を進めている。

Q

コロナワクチン接種事業の委託契約の内容は。

A

ワクチン接種相談を行うコールセンター業務に係る委託料で、業者より人材派遣してもらう。センターは本庁舎内に設置し、物品等は市で準備する。

○令和2年度由布市一般会計補正予算(第13号)

Q

コロナ対策として整備するサテライトオフィス2ヶ所について。

A

新たな生活様式としてワーケーション等推進を見据え、企業誘致や移住定住等、地域活性化に取り組む。場所は、湯布院温泉館内にある旧観光総合事務所と挾間町の旧朴木小学校を予定している。

Q

行政手続電子申請等事前調査業務委託について。

A

由布市の例規を管理している業者を予定している。現在、令和3年度から出生・死亡・転出入・施設利用申請等に関する押印廃止を始められるよう作業を進めている。

Q

児童扶養手当717万6千円の減額と、保育補助者雇上強化事業費補助金625万8千円の減額について。

A

児童扶養手当は、受給者の所得増による手当減額等の実績によるもの。雇上補助金は、当初4人分計上したが実績が3名であったため。

Q

図書館システム改修業務2,970万円について。

A

現在のシステムは令和3年9月で保守満了し、新たに改修を行う。電子図書については、将来的には対応可能なシステム導入を考えている。

Q

コロナ対策事業(学校教育)の備品購入費602万円とは。

A

液晶テレビと台、計43台の費用。コロナ対策でテレビを通じた集会等に用いるのと、全校導入したiPadと併せてICT授業に活用する。



予算特別委員会 当初予算質疑

- Q** 固定資産税が前年対比1億6,628万3千円減額の要因は。
- A** コロナウイルス感染症拡大防止措置のため、一定の要件に当てはまる中小企業等に対し令和3年度に限り固定資産税を軽減。
- Q** 保健体育施設使用料の見直しはしないか。利用者からトイレが不衛生等の声を多く聞く。利用料が高くても気持ちよく使えたら。
- A** コロナ禍の状況で料金を上げる事は時期尚早と考え、検討していない。
- Q** 湯平共同温泉管理は、地域住民の意見を広く聞いているか。
- A** 新泉源掘削に当たっては協議している。配湯施設も地域の役員と協議している。
- Q** コミュニティバスの改革は進んでいるか。高齢者の声は入っているか。
- A** 令和3年度にはかなり多くの乗り込み調査をする予定で、今後の在り方を更に検討する。
- Q** 湯布院公民館跡地利用についての考え方は。
- A** 公民館跡地活用検討委員会がこれまで提言された内容を整理しながら策定し、議論されると考える。
- Q** マイナンバー交付数の進捗状況と、目標達成できたか。
- A** カード交付数は年々増加傾向にある。目標は当初47%だがコロナ禍にあり2月末で24.6%
- Q** 地域資源利活用推進事業の内容と交付される団体名は。所在地と収益見込み及び費用対効果は。
- A** 対象は一般社団法人ユフイズムで、事務所は本庁新館1階会議室。収益見込みは令和2、3年についても新商品の開発や販路拡大に向けたPR、4年以降にしっかり成果をお示しできるようにしたい。
- Q** 新消防団員の活動服は。予定団員は何名か。退団者の活動服の管理は。
- A** 活動服の予算は50人分を計上。今の所、退団届と新入団届が提出されていないので団員数は把握できない。退団した団員の活動服は分団内で融通し合い活用していると聞いている。
- Q** GIGAスクール事業のタブレット貸与分は保険をかけないのか。
- A** 購入当時、アップル社の4年間補償で試算をしたが、破損分を買い替えたほうが予算的には安く上がると判断し、保険加入はしていない。
- Q** スポーツセンター施設の今後の運用計画は。
- A** 耐用年数の50年が経過しているので今後は更新しないとなっている。令和3年度、財政課と協議しながら検討したい。
- Q** 公共土木施設災害復旧費3億2,690万円の中に小野屋新竜橋の復旧工事は含まれているか。
- A** 新竜橋の施設災害復旧工事については、令和2年度の予算で対応していく。

議員定数の

発議第2号 由布市議会議員定数条例の一部改正について

《提出者》 由布市議会議員 **工藤 安雄**

《提案理由》

議員定数については、9人の議員で構成する議会活性化調査特別委員会において喫緊の課題として調査・研究を行う事が決定され、全員協議会に報告があり、約1年6か月間に渡って調査・研究が行われ、その結果が報告書として提出された。この報告書では、類似団体や県内の市議会の状況等をつぶさに調査し、議員定数については、10年、20年先を見据えたものであること、さらに、これにより議会の弱体化を招くことのないよう議員一人ひとりが一層の資質の向上を図り、地方自治の本旨に基づいた民主的な地域社会を確立するため、今後も引き続き議会活性化を推進することによって、市民に信頼され市民とともに歩む議会を目指すことをお誓いする、と報告されている。

この報告書を受け、各常任委員会や議会運営委員会、全員協議会での議論を経て、今回の提案に至った。改正の内容については、定数を現行の20人から18人に定めるものである。

賛成多数で原案可決

発議についての詳しい討論内容については、
由布市議会ホームページの議会中継をご覧ください。→
(令和3年第1回定例会 3月22日(最終日) 1:07:50頃～)



〈由布大分環境衛生組合議会 報告〉

■令和3年第1回由布大分環境衛生組合議会定例会 日時/令和3年2月5日

事件及び審議結果

- 由布大分環境衛生組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する報告について
- 令和2年度定期監査報告について
- 令和2年度由布大分環境衛生組合一般会計補正予算(第2号)について

全員賛成で可決

由布大分環境衛生組合議会 議長 **長谷川 建策**

〈大分県後期高齢者医療広域連議会 報告〉

■令和3年第1回大分県後期高齢者医療広域連議会定例会 日時/令和3年2月1日

事件及び審議結果

- 令和3年度大分県後期高齢者医療広域連合予算について
- 大分県後期高齢者医療広域連合副広域連合長の選任に関し議会の同意を求めることについて
- 専決処分した事件の承認について

〔大分県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正〕

- 大分県後期高齢者医療広域連合第4次広域計画の策定について

賛成多数で決定

大分県後期高齢者医療広域連合議会議員 **太田 洋一郎**

改正について

討 論

(要約)

※発議第2号

由布市議会議員定数条例の一部改正について

賛成討論

佐藤 郁夫 議員

全国同規模の市の議員定数は平均17.4人、九州管内の類似団体の平均は17.6人であり定数削減が市民の関心が高まる契機になることを願い、賛成します。

加藤 裕三 議員

市民の意見を十分に聞いた上で、昨今の状況を見て最低としての18名として、今後やっていくことに賛成します。

平松 恵美男 議員

人口が減少する現状で税収の確保がなかなか難しい中において、将来的な由布市のことを考え、英断・決断し、議員定数18名に賛成します。

瀧野 けさ子 議員

過去の歴史を鑑みて全体的に考える必要がある。各種団体からの要望書の中では16名との声もあったが、18名になったからといって動きは変わりません。

佐藤 孝昭 議員

近隣市町村よりも上回る定数は市民の理解を得られるとは思っていません。市の財政を鑑み痛みを分かち合う為にも覚悟をもって減数を導き出し、賛成とさせていただきます。

田中 真理子 議員

税収入が減る中で、議員自ら決断しなければ、市民に理解を得られない。3町の議員がまとめ、自分たちの行動に責任をもって動けば、理解を得られると考え、賛成します。

田中 廣幸 議員

20名で出来る事で、18名だったらできない事は無いと思います。18名が適正かと思います。賛成します。

甲斐 裕一 議員

8年前から各種団体と話してきた。当時から定数18名でよいと思っていた。現状の由布市の人口、財政を考えると18名が良いと思う。賛成します。

反対討論

高田 龍也 議員

現状3名欠で、2017年の選挙では3名合計の得票数は2120票で全有効投票数10.42%あるため、現状では由布市民の意見が十分に反映されていないと考え、反対します。

坂本 光広 議員

若い議員や女性議員をどうやって生み出すか、それらについて議論されていないことや次の選挙が10月であり早急のため、反対します。

太田 洋一郎 議員

昨年の7月豪雨を受けて、各議員駆けずり回り行政につなぐ活動の中で、由布市は非常に面積が広く、市民の声を届けているのか危惧される。

加藤 幸雄 議員

去年からのコロナ禍や豪雨災害などの中では、やはりもう少し落ち着いてところで、議員定数を改めて検討するのが妥当ではないかと、反対の意見とします。

長谷川 建策 議員

昨年の豪雨災害を経験して、ひとりでも多くの議員が欲しいと考えた。また、コロナ禍でもあり、今削減ではなく、コロナが終息、災害からの復興後に検討するべきと考え、反対します。

鷺野 弘一 議員

持論の「市民の意見を行政に持っていく」という思いから、昨年の豪雨災害から由布市がいかに復興していくか見守るためにも議員を減らすべきでない。

吉村 益則 議員

議論が足りない。10月の市議会議員選挙のことを考えると、定数の変更は急すぎると考える。余裕をもって判断するべきと考え、反対させていただきます。

総務常任委員会

専決処分の承認を求めることについて「由布市一般会計補正予算（第12号）」

歳入歳出予算にそれぞれ1億3,743万7千円を追加し、予算の総額を278億1,189万2千円としたことの承認を求めるもの。当委員会に係るものとして、JR由布院駅と庄内駅間の代行バスによる輸送業務委託料の64万7千円で専決処分を行ったもの。

全員一致で原案承認



辺地に係る公共的施設の総合整備計画について

期間が令和2年度をもって終了することから、「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第1項」に基づ

き、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間として、新たに「川西中」と「湯平」辺地を加え、合わせて14地区における「辺地の公共的施設の整備計画」を策定することについて議会の議決を求めるもの。

辺地債は有利な起債事業であると認識する。しかし、令和2年度までの計画の実施率が12%だった報告を受け、委員会の中でこれらの計画については実施率の向上に努めていただきたいとの意見が出た。

由布市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について

由布市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について

由布市長、他3役の給料を4月から9月まで3%の減額、職員7級在職者は2%、6級以下在職者は1%の減額措置を行うもの。

全ての議案について、全員一致で原案可決

教育民生常任委員会

専決処分の承認を求めることについて「令和2年度由布市一般会計補正予算（第12号）」

新型コロナウイルスワクチン接種事業に係るもの。

全員一致で原案承認

由布市国民健康保険条例の一部改正について

由布市介護保険条例の一部改正について

共に新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の公布に伴い条例の改正を行うもの。

由布市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

由布市指定介護予防支援の事業に係る申請者の要件並びに人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

由布市指定地域密着型サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

由布市指定地域密着型介護予防サービスの事業に係る申請者の要件並びに人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

共に各事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の公布に伴い、条例の改正を行うもの。

令和2年度由布市一般会計補正予算（第13号）

歳入の主なものは健康温泉館使用料371万5千円の減額は利用者の減に伴うもの。児童福祉費負担金1,220万5千円児童手当の減額は対象者の減によるもの。

歳出の主なものは、保健衛生総務費1,747万7千円は、医師会・歯科医師会・薬剤師会に加入する事業所に補助するもの。新型コロナウイルス緊急対策事業費5,915万2千円は、健康温泉館自動水栓取付工事及び市内学校施設トイレ洗面所等自動水栓化工事を行うもの。機械器具費602万円は、授業で使用するためのモニター等の購入。



令和2年度由布市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1,023万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を40億7,622万9千円とするもの。

増額の理由は、高額療養費の増額の見込みによるもの。

令和2年度由布市介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ2億9,830万円を減額し、歳入歳出予算の総額を42億2,884万8千円とするもの。

減額の理由は、新型コロナウイルス感染症対策により給付費等の見込みの減少によるもの。

○予算特別委員会全体会で質疑のあった令和3年度一般会計予算のうち、二つの事業についての分科会意見

由布市ゆふの丘プラザについては、場所等の利点を活かし、利活用できる事を望む。

歴史民俗資料館については、今後工夫していただき安定した管理を望む。

全ての議案について、全員一致で原案可決



ゆふの丘プラザを現地視察

産業建設常任委員会

専決処分の承認を求めることについて「令和2年度由布市一般会計補正予算(第12号)」

(歳出)商工振興費の新型コロナウイルス緊急対策事業は、緊急事態宣言再発令等により減収(基準有)した市内飲食業、卸売業、運輸業者等に対し、事業継続支援金を1事業者あたり20万円支援するもの。

全員一致で原案承認

由布市新型コロナウイルス感染症緊急対策特別資金特別融資利子補給基金条例の制定について

大分県が創設した特別融資を受けた市内中小企業者の、当該融資に係る利子補給金に充てるための基金を設置するもの。

由布市農業後継者等特別奨学資金交付条例等を廃止する条例について

由布市合併時に経過措置として定めていたが現在適用者は無く、また同趣旨の規則等を新たに定めて事業を行っているため3つの条例を廃止にするもの。

由布市市民農園条例の一部改正について

農園利用者が不測の事態等により年度の途中で利用の継続が困難となった場合に、認められれば使用料の全部または一部を返還できる規定を設けるもの。

由布市火入れに関する条例の一部改正について

本来規則にて制定すべき申請等に関する条文を削

除し、条文の繰上げ等を行うもので、この条例の施行日に合わせて規則も制定をするもの。

由布市道路占用料徴収条例の一部改正について

道路法改正に伴う道路占用料額の改定、並びに交通安全施設に自動運行補助施設を項目に追加するもの。

由布市市道の構造の技術的基準等に関する条例の一部改正について

道路法及び道路構造令の改正に伴い、新たに交通安全施設に自動運行補助施設を追加し、並びに歩行者利便増進道路に関する項目を追加するもの。

市道路線の認定について

古野水毛ツル線	認定	起点： 挾間町古野159番7 終点： 挾間町古野159番9	延長 49.0m	寄付のため
林線	認定	起点： 庄内町五ヶ瀬490番6 終点： 庄内町五ヶ瀬783番4	延長 410.5m	県道移管
寺小野栗ノ木線	認定	起点： 庄内町五ヶ瀬433番 終点： 庄内町五ヶ瀬1027番1	延長 593.7m	県道移管

産業建設常任委員会

「事務の委託の協議について」の一部訂正について

前回の定例会で可決した「事務の委託の協議について」において、大分市との最終協議の際に訂正すべき箇所が生じたため規約の一部を改めるもの。

令和2年度由布市一般会計補正予算 (第13号)

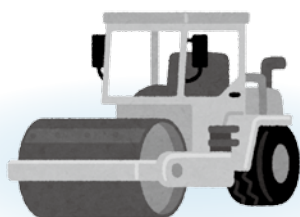
歳入の主なもの

- ・耕地災害復旧事業の増高申請に伴う補助率のかさ上げ等による、農林水産業費分担金3,454万7千円の減額。



歳出の主なもの

- ・古野井路、元治水井路、新井路に関わる事業費の確定に伴う県営農業水利施設保全合理化事業負担金5,944万円の増額。
- ・昨年10月に続きプレミアム率30%の商品券を1万セット発行する地域経済活性化事業補助金3,320万円の増額。
- ・循環型観光促進業務委託料950万円は、コロナ禍後に向け市内3町を巡るモニターツアー及び消費単価増に繋がる旅行商品造成を行う。
- ・GoToキャンペーン終了後の経済対策として市内旅館等に宿泊した方へ2千円分の地域商品券を発行する、おもてなしクーポン券発行事業費補助金4,200万円の増額。
- ・道路整備事業（社会資本整備事業（改良））は、国からの追加内示のあった市道東行田代線3工区に係る工事請負費3,000万円の増額。



- ・農業用施設災害復旧費は、7月豪雨災害および台風10号災害に係る工事請負費6億8,186万9千円の増額。

- ・小災害補助金申請に日数を要することから一部令和3年度予算へ振替え、災害復旧補助金を4,795万5千円減額。

- ・黒川橋や河川等の一部は施工時期が限られることから令和3年度予算へ振替え、公共土木施設災害復旧工事費を3億7,783万8千円減額。

当委員会として、商工費に関し、感染症の収束が見えない中、新型コロナウイルス緊急対策事業は重要であると考えられ、今後も事業推進にあたっては事業効果を最大限に引き出せるよう、十分なPR等に取り組むこと。また、災害復旧費に関し、多忙を極め繰越せざるを得ない状況は理解しているがなるべく早期の完了を目指すよう意見を付した。

令和2年度由布市水道事業会計補正予算 (第5号)

補正の主なもの

- ・収益的支出2,152万7千円の増額は旧簡易水道事業分の減価償却費確定に伴うもの。
- ・その他、入札減等の実績に伴う減額。

	補正額	総額
収益的収入	+952万3千円	9億1,821万3千円
収益的支出	-814万円	8億2,836万5千円
資本的収入	-1,758万6千円	3億3,386万9千円
資本的支出	-1,682万8千円	6億4,328万7千円


全ての議案について、全員一致で原案可決



一般質問

市政を問う

- 平松 恵美男 議員 …… 市道向原・野田線の復旧状況について、他
- 吉村 益則 議員 …… 介護保険事業計画について、他
- 佐藤 郁夫 議員 …… 新型コロナウイルス感染症対策について、他
- 加藤 裕三 議員 …… 新型コロナウイルス感染症対策について、他
- 田中 真理子 議員 …… 令和3年度当初予算の重点は、他
- 加藤 幸雄 議員 …… 学校指導要綱について、他
- 坂本 光広 議員 …… ふるさと納税について、他
- 佐藤 孝昭 議員 …… 感染症や自然災害からの復興復旧について、他
- 田中 廣幸 議員 …… 7月豪雨災害の復旧対策について、他
- 淵野 けさ子 議員 …… 市長の4年間の実績について、他
- 鷲野 弘一 議員 …… 「おくやみコーナー」開設について、他
- 長谷川 建策 議員 …… 市長1期目最後の年、やるべき課題について、他
- 高田 龍也 議員 …… 由布市の経済対策、自主財源について、他
- 太田 洋一郎 議員 …… 水地・湯平の迂回路について、他



平松 恵美男 議員

①市道向原・野田線の復旧状況について

②挾間の中心部開発と周辺部の地域振興について

Q 黒川橋の今後の復旧状況について

A 本年の黒川の湯水期に橋梁工事を発注したい。

Q 黒川橋周辺は通学路です。拡幅や新たな取り付け道路の計画はあるか。


A 現道は狭小区間が多くカーブにより見通しも悪いため利用者の支障となっていることから、黒川橋の復旧に併せて道路整備を計画している。

Q 挾間町の直近宅地開発件数は

A 挾間町環境保全条例と開発指導要綱に該当した今年度の申請受付件数は、宅地造成が6箇所50戸、共同住宅が3箇所52戸、昨年度は宅地造成が3箇所51戸、共同住宅が5箇所64戸です。

Q 朴木・時松地域の人口減少と過疎化対策は

A この地域での集落を維持するため、また地域の個性や由布川溪谷をはじめ豊かな自然環境を活かした地域づくりを進めるために、中山間直接支払制度を更に活用し高収益作物への転換も推奨していく。



吉村 益則 議員

介護保険事業計画について

Q 見直しされる由布市介護保険事業計画について

A 高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画は市民公募枠を設けて策定委員会を組織し策定している。団塊の世代が75才以上となる2025年や団塊ジュニア世代が65才を迎える2040年を見据えて高齢者を取り巻く様々な問題に取り組むため体制の強化に努めていく。

Q 健康温泉館の今後の運営について

A 市民の健康増進拠点施設や健康づくり事業の拠点として位置付けされており、運営方針や利用方法も現状の方針を持続していく。温泉館運営協議会に於いて、活用促進や施設管理などについての協議を行いながら運営に活かしていく。

Q 市の移住促進について

A コロナ禍に於いて移住を検討する方の増加が見込まれる中、問い合わせに柔軟に対応できる様に体制を整えていく。移住希望者の相談の内容は移住環境だけでなく教育、医療など多岐にわたる事から、各課が連携して対応し、県の施策とも合わせて充実に努める。



佐藤 郁夫 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

- Q** 新型コロナウイルス感染症対策について、市民へのワクチン接種券の発送時期と副反応対策と啓発はどうしていくのか
- A** 接種券発送は、65歳以上の高齢者は4月中旬に発送し、一般の方は、接種開始の数週間前になる予定です。接種のメリット・デメリットを考慮し接種するよう最新の情報を市報やホームページ等で広報していく。
- Q** 行政事務のスマート化の進展状況について
- A** 先ず押印廃止に取組み、転入転出の手続きは4月から押印廃止を目指し、課題を整理している。一部の社会教育・スポーツ施設の利用申請も新年度から廃止したい。
- Q** 遊休資産の有効活用について、下湯平若者定住化用地と旧庄内公民館の利活用方針を聞く。
- A** 下湯平若者定住化用地は、特定施設防衛交付金等の活用を視野に入れ、地域住民の意見も聞き整備したい。旧庄内公民館の利活用は、庄内町地域定住化対策計画等により定住化住宅や地域活性化対策で有効活用に努めていく。
その他、由布市立学校教育問題について質問しました。



田中 真理子 議員

令和3年度当初予算の重点は

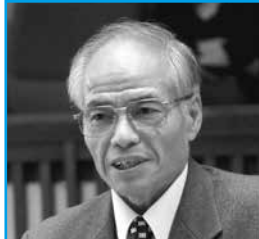
- Q** 令和3年度当初予算の重点は
- A** 予算編成の基本方針の中で、「ウイズコロナ時代の復興と創生に向けて」として、最優先課題である災害からの早期復旧、復興に向けた予算編成を基調とした。当初予算には、公共土木施設、農業施設等の災害復旧事業費として約15億円、地方創生の取組や災害からの復興の後押しをするため設けた地域発展枠とコロナ対策、災害復興対策創生枠には、待機児童解消に向けた児童クラブ棟の建設工事の実施設計、地質調査、商業のにぎわい創出などに向けた創業支援、由布学を通した人材育成、情報発信事業など合わせて28事業に約2億9,600万円を計上。
- Q** 防災・減災計画における国土強靱化地域計画の基本的な考え方について
- A** 災害のリスクや地域の状況等に応じて、防災施設の整備、施設の耐震化等のハード対策事業と、災害対応体制、避難体制の確保、防災訓練、教育等のソフト事業を地域と連携・役割分担し、効率的に推進する。



加藤 裕三 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

- Q** 新型コロナウイルス感染症対策について
- A** 市内事業者へ経営支援対策を切れ目なく実施した。具体的には、事業継続支援、消費喚起策、閑散期の宿泊対策支援等、約5億5千万円の直接的な経済的効果があったと考えている。今後も「プレミアム商品券」「おもてなしクーポン券」等の発行及び「循環型観光」を推進し、経済活性化を図る。ワクチン接種体制は健康増進課内に接種対策班を設置し国の示すスケジュールで体制整備を図り進める。
- Q** 公園整備について
- A** 市民の利用状況等の把握、災害時の機能等を総合的に考慮し配置や整備計画を検討すべきと考えている。
その他、「道路整備マスタープラン策定」「国民宿舎跡地の泉源活用」等



加藤 幸雄 議員

- ①学校指導要綱について
- ②由布市民全員にPCR検査をしませんか

- Q** 学校指導要綱の改正で、子供たちが楽しみにしている運動会や鼓笛の練習時間をなんとか取れないか
- A** 今回、外国語の時間が新設され、特別活動に充てられる時間が少なくなった。学校として優先すべきことを基準に取り組むとやはり出来ません。
- Q** 子供たちが楽しい学校生活が遅れるようによろしくお願ひします。
- Q** 検査の結果陰性であれば「安全通行手形」になり、飲食店や宿泊施設を利用することも可能になる。陰性の方々の会食などでは陽性になることはないと思いますが。
- A** 感染していても検査で陰性になることがあり継続的に安全が保障されたわけではないので、今はワクチン接種に万全を期していきたい。
- Q** ワクチン接種も7月までかかり、5月の連休を含めて飲食・宿泊業者はお客さんが減った状況が続きます
- A** 気持ちは十分わかるが、今のところ考えていない。
- Q** PCR検査を何処かの団体でやるとか、関係者と相談したいと思います。



坂本 光広 議員

ふるさと納税について

Q ふるさと納税をどのように増やしていくか

A ふるさと納税の各自治体の状況を調査したところ納税額が多いのは、取り扱いポータルサイトを複数サイト持っており、またその地域において特色のある返礼品を充実させております。由布市では、サイトはさとふるのみでしたが、今回プロポータルでサイトを増やす様にしております。プロポータルの内容としましては、由布市の魅力である観光、旅館業を含め、強みのある商品の開発をお願いしております。また、一括代行といった形ではなく、例えば観光協会などにもお手伝いをしてもらい地元へ還元して行ければと考えております。

Q 来年度の目標と将来の目標は

A 来年度は3億円を目標に。将来の目標は、国東市の20億円ですのでそのぐらい行ければと考えております。

その他、ネーミングライツについて、コロナ禍における商工業支援について質問しました。



田中 廣幸 議員

7月豪雨災害の復旧対策について

Q 令和2年7月豪雨災害の復旧対策について。復旧に時間がかかるのは、行政側の人員不足なのか、土木・建設会社の人員不足か。気候変動により今後も災害は増加すると思うが人員などの不足であれば、由布高校に農業土木科や農業園芸科の新設はできないか。学生寮として「寿楽苑」跡地利用は。

A 県内業者も人手不足であり、調査や設計にかなりの時間を要している。大分県や近隣自治体より延べ15名の派遣をいただいた。由布高校の新設科については、県教育委員会に決定権があり専門学科の新設は難しい。

Q 狭間小学校区の児童クラブの進捗状況は。建設場所、完成は。空き施設の利用計画は。

A 狭間庁舎南側を予定。完成は令和3年度内を目指す。空き施設の利用は、子ども支援センターの子どもルームはさまの利用者が多く手狭になっており、当団体と協議を進めていく。

その他、黒川橋の早期復旧、谷地域の神社公園、森林公園の道路整備や衛生面などの環境整備について、質問を行った。



佐藤 孝昭 議員

由布市の新型コロナウイルス感染症や自然災害からの復興復旧について

Q 災害復旧の用途は。災害地の農家の所得の確保や作付のできる農地への用水の確保の対策やアナウンス等は万全か。

A 自治区班回覧と市報により、農業施設の災害復旧工事を令和3年3月まで約300件程度発注をして、農地の復旧については4月以降になると皆様方にはお知らせをしているところです。

Q 地権者や被災者さんに直接、せめて復旧工法や負担額、今時点の工期間のアナウンスはする必要があるのではないか。

A 電話等で問合せがあれば、分かる範囲でお知らせしていますが、やはり議員が言われることも十分分かりますので、例えば自治委員さんを通じて、一度に問合せが殺到することがないように地区を分けて、そういった御案内を検討させていただきます。

ほかに「由布市のDX構想の取組と市民向けの効果は」「ストップ!コロナ差別を宣言し市民全体で取組を」「学校でのコロナ差別問題の啓発を」「ゆふ健康マイレージのアプリ化とゆふポとの連携」「人口減少対策での移住対策計画は」「人口減少の庄内地域の過疎計画にどのような対策や方針を起てるか」「令和2年度の財政運営状況」等について質問しました。



湊野 けさ子 議員

市長の4年間の実績について

Q 10月には1期の任期満了を迎えます。4年間市民の為に御尽力されて来られたが市長としてのマニフェストは達成出来ましたか。2期目の挑戦への意向があるのか。

A 市長就任以来「安全安心で快適なまち」「人を育むまち」「医療福祉のまち」「産業振興のまち」の実現を目指して、そして「持続可能な行政運営」を念頭に5つの思いを持って、公正公平を第一義として、市民生活優先の市政運営に取り組んできました。令和3年度については豪雨災害から一日も早い復興を目指して参りたい。2期目については市民の皆様の御支持を頂けるのならば引き続き魅力あふれる由布市実現のため、全力で市政の舵取りを行って参りたい。

Q 支援対象見守り強化事業の実施はできないか

A 要保護児童対策地域協議会に登録されている支援対象児童に対しては定期的に支援を行っている。今後も子ども食堂の利用を積極的に促し事業実施に向けスタッフ等の体制が取れる状況を確認しつつ検討していきたい。



鷲野 弘一 議員

「おくやみコーナー」
開設について

- Q 死亡時の届け出が解りやすく時間も早くなり市民に寄り添った「おくやみコーナー」開設について問う。
- A (市長)死亡に伴う手続きを検討・協議を重ねた結果、3月下旬から市民課内に総合窓口を設け運用する予定で、最初は死亡に伴う手続きを主に取り組んでいく計画です。
- Q 7月豪雨災害の原因として、「中部林道」下の川・沢・水路を経由しての柚木・長野・平石・葦草各集落に被害がみられるが、中部林道で集まった大量の雨水対策について、県と市のそれぞれの考えを問う。
- A (農林整備課長)7月豪雨後の中部林道については、土砂等が堆積し、通行できない箇所4ヶ所、片側通行箇所は約20ヶ所、現在は復旧工事は完了しております。県の職員が現地調査を行い、治山ダムの新設や巨岩対策を検討していると聞きます。今後も引き続き、治山ダムの新設等、再発防止に向けた対策の要望と合わせ、市として林道の維持管理をしっかり行っていきたいと考えます。



高田 龍也 議員

由布市の経済対策、
自主財源について

- Q 由布市の自主財源について。コロナ禍を経験した今、由布市税条例第51条(2)減税部の「当該年において所得が皆無となったため生活が著しく困難になった者またはこれに準ずると認められる者」を改正し、前年より減少した所得差額に応じて減免利率を設け、減免することができないか伺う。
 - A (税務課長)改正を行い前年の所得が400万円以下で失業・疾病・倒産もしくは休業業のため、当該年の所得が一定以上減少すると認められ、納税が困難となった場合には、その減少割合に応じて市民税の減免割合を適用して減免できるよう改正した。
 - Q 今後も市民に寄り添った条例改正を執り行っていく考えはあるか。
 - A (副市長)市民目線に立って、市民のために、市民の暮らしがしっかりとやっていけるように、生活が向上するように条例の不具合があれば、改正は当然必要と思っております。
- 質問の詳細・その他質問は、由布市HPの由布市議会インターネット議会中継中の録画中継をご覧くださいませ。



長谷川 建策 議員

市長1期目最後の年、
やるべき課題について

- Q 相馬市長は市民も誇れる由布市の創造へ向け、取り組むべき七つの公約を掲げ、身の丈にあった予算編成と身の丈を超える成果の具体化を発表。一期目最後の年を迎えるに当たり今後のやるべき課題を問う。
- A (市長)七つの約束を果たす為、子育て日本一を目指す、頑張る地場・中小企業への応援、健康寿命トップレベルを目指す、地域の力を取り戻す生き生きしたまちづくりの推進、利用しやすい公共交通網の実現、由布市観光力の復興と深化、そして安定的な水の供給。令和3年度以降も引き続き誠心誠意取り組む。
- Q 地域利便性の情報発信、ラックホールの総合効果を含め商店街として30%増を目標としている市の考えを聞く。
- A (商工観光課長)今後は、新たに出店を促す空き店舗等の活用、販路開拓となるチャレンジショップの整備などを行うことに対して、可能な限り、応援をする。創業に対する初期費用を支援する事業を行う。



太田 洋一郎 議員

水地・湯平の
迂回路について

- Q 湯平院町の水地自治区、湯平温泉場地区の迂回路整備について。前回の一般質問で両地区の迂回路について質問し、現時点で計画は無いが検討すると回答を頂いた。その後、由布市国土強靱化地域計画が策定され、脆弱性評価結果で由布市を東西に横断する国道210号線は避難路、緊急輸送道路としての役割を担っており、災害に対する耐性強化のため、迂回路となる市道等維持補修を優先実施していく必要があると示されていることから、早急に整備する必要があると考えるがどうか。
- A (建設課長)210号線の迂回路となる幸野中川線の幸野・水地間の未改良区間は事業計画があり、現在進めている。水地・中依の未改良区間においては、前回の指摘を受け、現道の現地調査を終えており、今後、待避所あるいは舗装や側溝整備等で迂回路の代替機能とした対応の検討を進めている。湯平温泉場地区の迂回路については、概略計画ルート案を策定しているが、土砂災害危険区域や渓流、急峻な山々があり、今後も調査研究を行う必要がある。

宝くじの収益金は 高齢化少子化対策、防災対策、公園整備、
教育及び社会福祉施設 の建設改修などに使われます



宝くじ公式サイトでも 宝くじを購入できます!!

宝くじ公式サイト注册会员になると、お得で便利に宝くじの購入ができます!



特典1 たまる!つかえる!宝くじポイント

宝くじを購入すると、
100円につき1ポイントの
宝くじポイントが獲得できます。



宝くじポイントは、1ポイント1円として、
宝くじ公式サイトや宝くじ売り場で
つかえます!



特典2 購入～受取までネットで完結!

原則1年中、24時間いつでも宝くじの購入ができます。
ジャンボ宝くじ等の普通くじの購入もできます!

宝くじの購入にはクレジットカード決済またはキャリア決済がご利用いただけます。



抽せん結果も宝くじ公式サイトで簡単に確認できます。

当せん金は、登録した受取口座に自動でお振り込みするので、とっても便利!



特典3 宝くじ会員限定のキャンペーンに参加できる!

他にも!

お得な特典や便利な
サービスいろいろ!
まずは宝くじ会員に今すぐ登録!!



宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業等に役立てられます。

本件に関する
お問い合わせ先

宝くじコールセンター

TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)

受付時間 10:30~18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く)

※電話番号を十分ご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

令和3年第1回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分		件名	代表提出者	結果
請願	R2 5	市道の認定について	鬼瀬自治区長 川野 徳昭	採択
請願	R2 10	市道認定に関する請願について	荒木自治委員 立川 和人	採択
陳情	H29 8	私達は、市に対して、本件土地の売買契約書中の契約解除条項を誠実に履行することを求めます。	「共進会跡地のメガソーラー建設に反対する会」代表 江藤 和子	継続審査

賛否一覧表

※○=賛成、●=反対、退=退席、欠=欠席、
〔令和3年第1回定例会〕

議長(佐藤人巳)は採決に加わらない。

※その他の上程された議案については、全員賛成で可決、承認

議案名	議員名	議決結果	議員名																	
			賛成	反対	佐藤人巳	甲斐裕一	工藤安雄	田中真理子	淵野けさ子	佐藤郁夫	長谷川建策	鷺野弘一	加藤幸雄	太田洋一郎	平松恵美男	加藤裕三	田中廣幸	吉村益則	坂本光広	高田龍也
発議2 由布市議会議員定数条例の一部改正について	原案可決	9 : 7	-	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されております。

- ・地域の行事やスポーツ大会への寄附や差し入れ
- ・お祭りへの寄附や差し入れ
- ・お中元やお歳暮
- ・年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- ・病気見舞い
- ・葬式の花輪や供花
- ・本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- ・初盆のお供えやご仏前

市民の皆様のご理解を
よろしく願います。

編集後記

先日、2年ぶりに幼稚園・小学校・中学校の入学式に出席することができました。新入生達が緊張するなか、在校生代表の素晴らしい歓迎あいさつと、新入生代表の新しい学校生活の気構えが伝わる言葉を聞くことができました。新年度となり、市内の行事や催し物も開催の運びとなるはずでしたが、新型コロナ(変異株)により今回も中止や縮小となってしまい残念でなりません。また今年も、熊本・大分地震から5年、東日本大震災から10年となり「復興五輪」も予定され、無事開催されることを祈るばかりです。昨今ではコロナウイルスの情報で、世界で活躍する日本人の話題も薄れてしまっています。先に見える情報の発信を国やマスコミが国民・市民に伝えてほしいものだと思います。

これから、市内の水田農家は繁忙期に入ります。昨年の豪雨災害で田植えのできない農地も市内に多くあります。そんな農地でも草刈りなどの管理は行っています。農家は常に自然相手の挑戦者です!!

田中 廣幸

議会広報編集特別委員会

委員長	田中 真理子	副委員長	吉村 益則
委員	淵野 けさ子	佐藤 郁夫	長谷川 建策
	坂本 光広	高田 龍也	佐藤 孝昭



このQRコードは市議会のホームページにつながります。

次の由布市議会は6月7日(月)に開会予定です(令和3年第2回定例会)